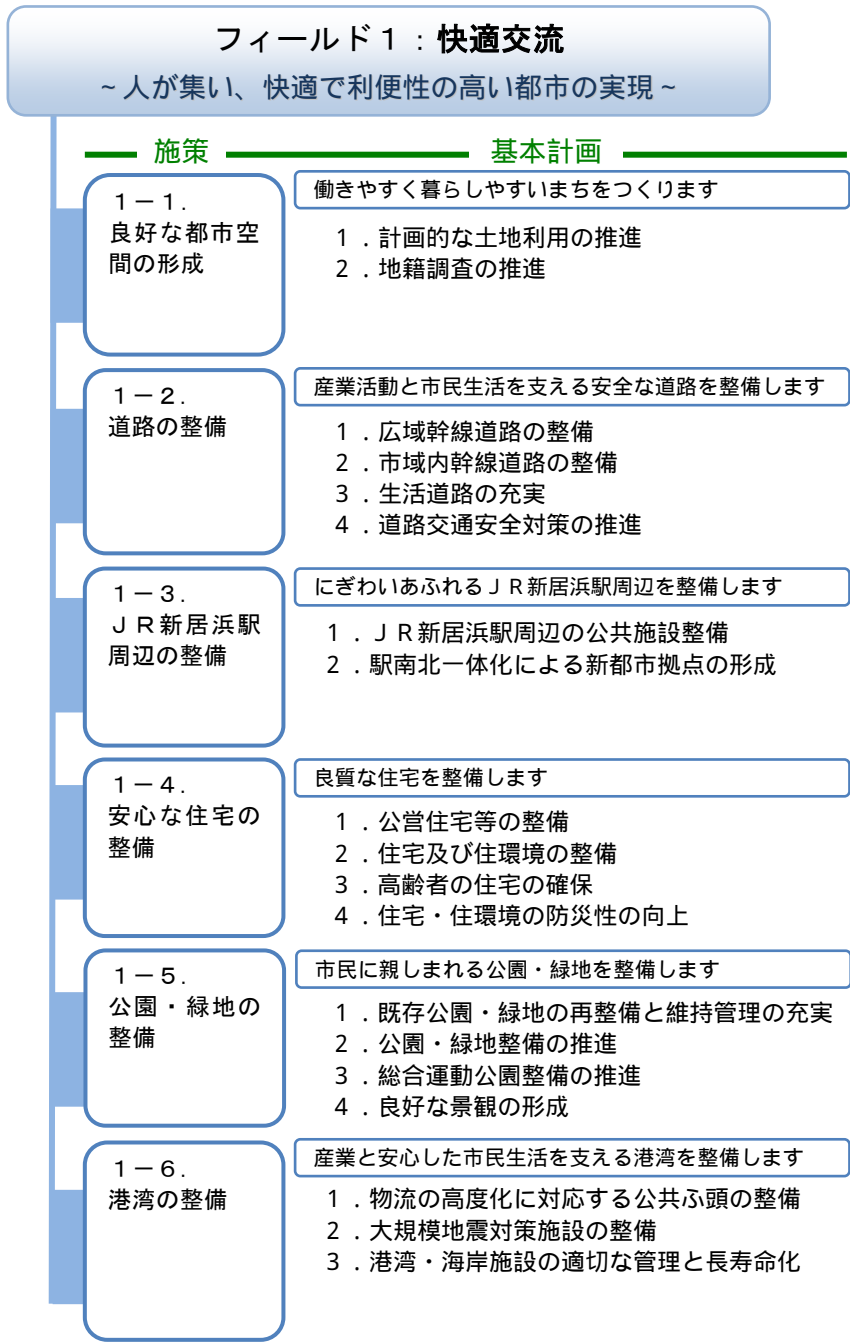


・フィールド別実施計画（施策別主要事業）
フィールド1：快適交流

快適交流



良好な都市空間の形成

基本計画

1-1-1 計画的な土地利用の推進 (重点) 1-1-2 地籍調査の推進

活動指標

指標名	現況値	計画値(H27)
用途地域面積	2,526.8ha	2,569.0ha
地籍調査済面積(累計)	1,166ha	1,875ha


成果指標

指標名	現況値	目標値(H27)
行政区域内人口に対する用途地域内人口割合	56.6%	56.9%
地籍調査進捗率	5.0%	8.0%

単位：千円

事業名	都市計画策定費				
基本計画	1-1-1 計画的な土地利用の推進	全体事業費(H23~H27)	69,265		
 <p>【 中心市街地と周辺部 】</p>	目的	長期総合計画や都市計画マスタープランに基づき、地域の課題に対応した都市計画の変更を行い、まちづくりを合理的に進め、計画的な土地利用の推進を図る。			
	事業内容	異なる法体系・計画による土地利用を調整するため、平成23年度より3か年で土地利用総合計画を策定する。 また、平成23年度には、JR新居浜駅南地区の整備方針の検討を行う。			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
スケジュール					
事業費	14,949	32,424	11,953	8,108	1,831


単位：千円

事業名	建築基準法指定道路台帳整備事業費				
基本計画	1-1-1 計画的な土地利用の推進	全体事業費 (H23～H27)	69,672		
	目的	建築基準法第42条第2項に規定される幅員4メートル未満の道路（狭あい道路）の地図を作成し公開することで、建築行為や土地の売買に際してのトラブルを未然に防ぐ。			
	事業内容	平成23年度から25年度に市内の都市計画区域における幅員4メートル未満の道路の現有資料の調査及び現地調査を行い、道路延長や幅員、位置（地番）などを記載した「指定道路台帳」を整備し、ホームページ等で公開する。			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
スケジュール					
事業費	33,522	14,840	21,310		

単位：千円

事業名	地籍調査事業				
基本計画	1-1-2 地籍調査の推進	全体事業費 (H23～H27)	186,810		
	目的	土地一筆ごとの境界、面積、形状等を正確に調査することにより、境界設定時のトラブル防止、土地取引及び公共事業の円滑化、災害復旧の迅速化などの効果を得られることから、計画的に調査を実施する。			
	事業内容	毎筆の土地について、所有者、地番・地目の調査や境界、地積に関する測量を行い、その成果に基づき地籍図及び地籍簿を作成する。平成23年度から平成25年度にかけて、上部東西線沿線地区の調査を実施する。平成26年度以降はD I D地区を中心に実施予定である。			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
スケジュール					
事業費	15,252	30,909	31,561	54,544	54,544

単位：千円

事業名	地籍調査事業（別子山地区）				
基本計画	1-1-2 地籍調査の推進	全体事業費 (H23～H27)	36,378		
	目的	<p>土地一筆ごとの境界、面積、形状等を正確に調査することにより、境界設定時のトラブル防止、土地取引及び公共事業の円滑化、災害復旧の迅速化などの効果を得られることから、計画的に調査を実施する。</p>			
	事業内容	<p>別子山地区は平成9年度に事業に着手しており、平成26年度に事業完了予定である。平成23年度は別子山瓜生野の一部、1.72km²の調査を実施する。</p>			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
スケジュール					
事業費	9,935	13,428	8,997	4,018	

基本計画

- 1-2-1 広域幹線道路の整備（重点）
- 1-2-2 市内幹線道路の整備（重点）
- 1-2-3 生活道路の充実
- 1-2-4 道路交通安全対策の推進

活動指標

指標名	現況値	計画値(H27)
11号バイパス供用延長（累計）	2.4 km	5.9 km
都市計画道路の整備延長（累計）	47.4 km	55.0 km
市道改良延長（累計）	276 km	297 km
バリアフリー歩道整備延長（累計）	7.7 km	14.0 km


成果指標

指標名	現況値	目標値(H27)
市街地(船木～大生院)通過時間	21分	21分
都市計画道路の整備率	51.9%	60.0%
市道改良率	58.1%	60.0%
バリアフリー歩道整備率	33.5%	60.0%

単位：千円

事業名	国道建設推進対策事業				
基本計画	1-2-1 広域幹線道路の整備	全体事業費 (H23～H27)	120,950		
 <p>【国道11号バイパス(萩生付近)】</p>	目的	国道11号の慢性的な交通渋滞の緩和及び交通事故の減少を図るとともに、松山自動車道新居浜インターチェンジと市街地のアクセス向上を図るなど、本市の交通ネットワーク基盤の形成と地域経済に大きく寄与する国道11号新居浜バイパスの事業推進を支援する。			
	事業内容	国道11号新居浜バイパスの整備に合わせ、接続する市道の拡幅改良の実施及び国土交通省と地元地権者等関係者との連絡・調整を行う。平成23年度は、馬淵本線・萩生西1号線改良工事（延長130m）他の改良工事を実施する。			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
スケジュール					
事業費	22,190	3,300	10,060	75,165	10,235


単位：千円

事業名	上部東西線改良事業（街路）				
基本計画	1-2-2 市域内幹線道路の整備	全体事業費 (H23～H27)	795,010		
 【上部東西線(中村四丁目付近)】	目的	山根公園や広瀬公園、県総合科学博物館などの観光施設を直線的に結ぶとともに、渋滞する国道11号を補完するなど、市民の生活や観光・産業を支える上部地域の東西幹線道路として整備する。			
	事業内容	上部東西線全線4,970mのうち、2,083m区間について供用を開始している。現在、広瀬公園前市道「中須賀上原線」から市道「菰生出口本線」まで908m区間の整備を推進しており、平成29年度供用を目指している。			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
スケジュール					
事業費	182,400	157,500	132,500	163,410	159,200

単位：千円

事業名	角野船木線改良事業				
基本計画	1-2-2 市域内幹線道路の整備	全体事業費 (H23～H27)	632,700		
 【角野船木線(角野新田町三丁目付近)】	目的	新居浜インターと(主)新居浜別子山線を結ぶ幹線道路で、狭隘で見通しの悪い船木・角野地区内の通行の安全性を確保するとともに、上部東西線と一体となって、市民の生活や観光・産業を支える道路として整備する。			
	事業内容	角野船木線全線1,700mのうち、第1工区327m区間について供用を開始している。平成16年度に事業を開始し、現在、新居浜インターから市道「新田東縦道線」まで1,373m区間の整備を推進しており、平成29年度全線供用開始を目指している。			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
スケジュール					
事業費	133,700	126,200	73,400	150,500	148,900

単位：千円

事業名	橋りょう維持修繕事業				
基本計画	1-2-3 生活道路の充実	全体事業費 (H23～H27)	356,000		
 <p>【補修の必要な東田橋】</p>	目的	橋りょうの長寿命化と補修費用の縮減を図るため、「新居浜市道路橋長寿命化修繕計画」に基づく橋りょうの予防保全的修繕を実施する。			
	事業内容	橋長5m以上の橋りょう93橋のうち、優先順位の高い橋りょうから順次、予防的な修繕を実施する。 平成23年度は、東田橋、筏津橋、保土野橋の修繕を実施する。			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
スケジュール					
事業費	32,600	52,600	52,600	115,600	102,600

単位：千円

事業名	交通安全施設整備事業				
基本計画	1-2-4 道路交通安全対策の推進	全体事業費 (H23～H27)	140,000		
 <p>【市道宮北通り線バリアフリー歩道(宮西町付近)】</p>	目的	安全で快適かつ円滑な通行を確保するため、歩道の整備や防護柵・カーブミラー・路面標示などの交通安全施設を整備する。			
	事業内容	平成23年度は、市道「宮北通り線」の歩道整備、「原地庄内線」のバリアフリー歩道整備を実施するほか、市道及び生活道路で交通安全施設を整備する。			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
スケジュール					
事業費	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000

基本計画

- 1-3-1 J R 新居浜駅周辺の公共施設整備（重点）
- 1-3-2 駅南北一体化による新都市拠点の形成


活動指標

指標名	現況値	計画値(H27)
公共駐車場台数（駅利用）	50 台	70 台
公共駐輪場台数（駅利用）	仮設 400 台	700 台

成果指標

指標名	現況値	目標値(H27)
駅周辺のにぎわいに対する市民満足度	5.0%	15.0%
J R 新居浜駅年間乗降客数	140 万人	142 万人

単位：千円

事業名	駅周辺整備事業				
基本計画	1-3-1 J R 新居浜駅周辺の公共施設整備	全体事業費 (H23~H27)	2,506,200		
 <p>【整備の進む J R 新居浜駅周辺】</p>	目的	新居浜駅の交通結節機能の向上や、駅利用者の利便性、快適性の向上を図るため、市の顔、玄関口にふさわしい新居浜駅周辺の整備を行う。			
	事業内容	平成23年度から平成26年度にかけて、駅北側には駐車場、駐輪場、人の広場を、駅南側には南口広場を整備する。 また、現在の老朽化した歩行者用の跨線（こせん）橋に替わり、新たに自転車での利用も可能な南北自由通路を整備する。			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
スケジュール					
事業費	658,600	1,471,900	37,100	338,600	

基本計画

- 1-4-1 公営住宅等の整備（重点）
- 1-4-2 住宅及び住環境の整備
- 1-4-3 高齢者の住宅の確保
- 1-4-4 住宅・住環境の防災性の向上

活動指標

指標名	現況値	計画値(H27)
公営住宅の耐震化工事実施棟数（累計）	0 棟	0 棟
民間木造住宅耐震診断補助	5 戸	25 戸
民間木造住宅耐震改修補助	0 戸	15 戸

成果指標

指標名	現況値	目標値(H27)
公営住宅ストックの耐震化率	49.1%	49.1%
高齢者円滑入居賃貸住宅の登録件数(累計)	4 件	7 件
民間木造戸建住宅の耐震化率	48.5%	80.0%


単位：千円

事業名	公営住宅建替推進事業				
基本計画	1-4-1 公営住宅等の整備	全体事業費(H23～H27)	400,443		
	目的		老朽化した公営住宅の建替事業を推進し、入居者の安全性の確保に努め、バリアフリー性能の向上等居住環境の整備を図る。		
	事業内容		南小松原団地9-1号棟（3階建て24戸）については、平成25年度に実施設計を行い、平成26年度に建替工事を実施する。		
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
スケジュール					
事業費			33,962	366,481	


単位：千円

事業名	市営住宅耐震改修事業				
基本計画	1-4-2 住宅及び住環境の整備	全体事業費 (H23～H27)	70,189		
	目的	公営住宅の適正な管理戸数を維持し、住宅の安全性を確保するため、計画的な建替及び耐震等についての検討を行い、耐震診断等を実施する。			
	事業内容	平成23年度に「新居浜市公営住宅等長寿命化計画」を策定し、計画的な建替や耐震改修等についての検討を行うとともに、平成24年度に瀬戸団地2号棟及び東田団地1号棟・2号棟の耐震診断・改修設計を実施する。			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
スケジュール					
事業費	8,211	9,168	24,493	18,836	9,481

単位：千円

事業名	民間木造住宅耐震診断事業				
基本計画	1-4-4 住宅・住環境の防災性の向上	全体事業費 (H23～H27)	2,500		
	目的	市民に耐震改修の必要性を広く周知し、耐震化を促進することで災害に強いまちづくりを目指す。			
	事業内容	愛媛県が養成した専門家による耐震診断を実施する民間木造住宅の所有者を対象に、診断費用の一部を補助する。平成16年度から事業を実施しており、国の民間木造住宅耐震診断補助金と合わせ、市も同額を補助している。平成23年度以降も事業を継続する。			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
スケジュール					
事業費	500	500	500	500	500

単位：千円

事業名	民間木造住宅耐震改修補助事業				
基本計画	1-4-4 住宅・住環境の防災性の向上	全体事業費 (H23～H27)	54,600		
	目的	市民に耐震改修の必要性を広く周知し、耐震化を促進することで災害に強いまちづくりを目指す。			
	事業内容	<p>「耐震診断事業」と合わせ、民間木造住宅の耐震改修設計費、耐震改修工事費、耐震改修工事監理費の一部を補助する。</p> <p>平成22年度から事業を実施しており、平成23年度以降も事業を継続する。</p>			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
スケジュール					
事業費	4,200	12,600	12,600	12,600	12,600

基本計画

- 1-5-1 既存公園・緑地の再整備と維持管理の充実
- 1-5-2 公園・緑地整備の推進（重点）
- 1-5-3 総合運動公園整備の推進
- 1-5-4 良好な景観の形成


活動指標

指標名	現況値	計画値(H27)
都市公園設置数（累計）	22 箇所	28 箇所
景観計画区域面積（累計）	0 ha	20 ha

成果指標

指標名	現況値	目標値(H27)
公園・緑地における公共施設愛護事業参加者数	1,468 人	1,681 人
都市公園面積（市民1人当たり）	10.62 m ²	12.31 m ²
都市景観に配慮したまちづくりに対する市民満足度	6.0%	10.0%


単位：千円

事業名	公園整備事業				
基本計画	1-5-1 既存公園・緑地の再整備と維持管理の充実	全体事業費(H23～H27)	501,083		
 <p>【池田池公園の菖蒲園】</p>	目的	公園の利用者が、安全かつ快適に利用できるよう適正な維持管理に努め、市民に潤いとやすらぎを提供する。			
	事業内容	定期的な公園のパトロールにより、施設の状況を把握し、遊具やトイレ等の施設整備を行うとともに、樹木の剪定や施設修繕を行う。			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
スケジュール					
事業費	108,083	98,700	98,700	98,700	96,900

単位：千円

事業名	公園長寿命化対策事業				
基本計画	1-5-1 既存公園・緑地の再整備と維持管理の充実	全体事業費 (H23～H27)	129,750		
 <p>【滝の宮公園の大型遊具】</p>	目的	<p>市内にある都市公園は、徐々に老朽化が進んでおり、安全対策への対応やライフサイクルコストの縮減の観点から、計画的な修繕や改築を行う必要がある。そのため「都市公園長寿命化計画」を策定し、計画的な改築・修繕を行うことにより公園を安全で快適に利用できるようにする。</p>			
	事業内容	<p>平成24年度に「都市公園長寿命化計画」を策定し、平成25年度以降、計画に基づき、緊急性の高い公園から改築・修繕を行う。</p>			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
スケジュール					
事業費		20,000	51,500	46,250	12,000

単位：千円

事業名	都市公園整備事業				
基本計画	1-5-2 公園・緑地整備の推進	全体事業費 (H23～H27)	209,000		
 <p>【中萩さらさら公園多目的人工芝グラウンド】</p>	目的	<p>市内で特に公園が不足している箇所に都市公園を整備する。平成23年度からは神郷地区に、スポーツレクリエーション・鑑賞の場として、防災機能も兼ね備えた近隣公園を整備する。</p>			
	事業内容	<p>平成23年度は、神郷公園の測量や設計調査を実施し、平成24年度から用地買収、平成25年度から造成工事を行う予定である。</p>			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
スケジュール					
事業費	20,000	63,000	63,000	63,000	

基本計画

- 1-6-1 物流の高度化に対応する公共ふ頭の整備
- 1-6-2 大規模地震対策施設の整備
- 1-6-3 港湾・海岸施設の適切な管理と長寿命化（重点）

活動指標

指標名	現況値	計画値(H27)
供用している公共岸壁数（累計）	9 箇所	11 箇所
耐震強化岸壁の整備数（累計）	0 箇所	1 箇所
港湾の維持管理計画策定施設数（累計）	3 施設	108 施設


成果指標

指標名	現況値	目標値(H27)
公共岸壁の整備率	75.0%	91.7%
耐震強化岸壁の進捗率	85.1%	100%
港湾の維持管理計画策定施設進捗率	2.8%	100%

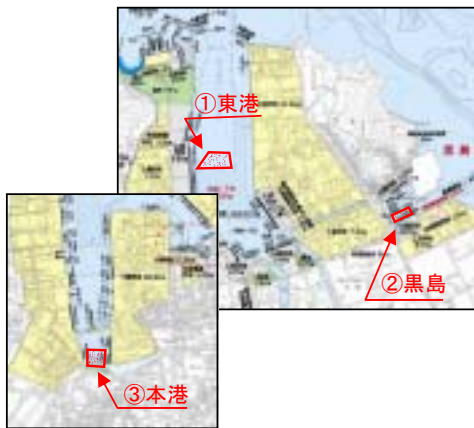
単位：千円

事業名	港湾改修（重要）事業			
基本計画	1-6-1 物流の高度化に対応する公共ふ頭の整備	全体事業費(H23～H27)	158,000	
	目的	堅調な貨物需要に対応した内貿ふ頭を整備するとともに、災害時の危機管理体制を支える耐震強化岸壁を建設する。また、船舶の入出港のため岸壁前面の泊地浚渫（しゅんせつ）を実施し、水深7.5mを確保する。		
	事業内容	次の3施設の整備を行う。 ①岸壁(-5.5m) L=100.0m 通常岸壁1バース ②岸壁(-7.5m) L=130.0m 耐震強化岸壁1バース ③泊地(-7.5m) V（浚渫土量）=140,000m ³		
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
スケジュール				
事業費	60,000	98,000		

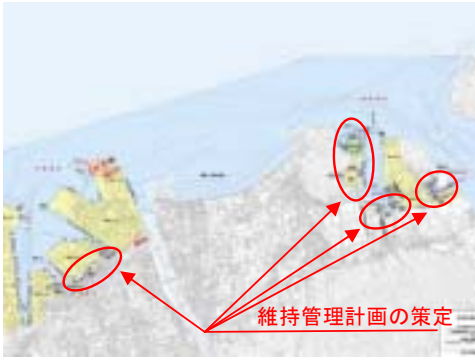
単位：千円

事業名	海岸（補修）事業				
基本計画	1-6-3 港湾・海岸施設の適切な管理と長寿命化	全体事業費 (H23～H27)	36,000		
	目的	中須賀護岸については、護岸基部及び護岸前面を補強し、護岸の安定を図ることによって、護岸背後の住宅への被害防止と、護岸転倒及び沈下後の中須賀地区への高潮浸水被害防止を図る。			
	事業内容	平成25年度より中須賀護岸の護岸老朽化対策工事（L=66.0m）を実施する。			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
スケジュール					
事業費			9,000	12,000	15,000

単位：千円

事業名	港湾改修（統合補助）事業				
基本計画	1-6-3 港湾・海岸施設の適切な管理と長寿命化	全体事業費 (H23～H27)	480,000		
	目的	泊地（-7.5m）の埋没に対しては、建設当初の水深確保のため、埋没浚渫を実施する。その他の施設についても、順次埋没浚渫を実施する。			
	事業内容	次の3施設の埋没浚渫工事を実施する。 (V=浚渫土量) ①東港地区 泊地(-7.5m)浚渫 V=70,000m ³ ②黒島地区 三喜浜岸壁前面浚渫 V=10,000m ³ ③本港地区（惣開）浚渫 V=20,000m ³			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
スケジュール					
事業費	90,000	90,000	100,000	100,000	100,000

単位：千円

事業名	港湾施設長寿命化事業				
基本計画	1-6-3 港湾・海岸施設の適切な管理と長寿命化	全体事業費 (H23～H27)	64,000		
	目的	<p>供用後の港湾施設を適切かつ計画的に維持管理し、施設の安全性を確保するとともに、維持・更新費用の最小化を図りつつ、長期にわたって有効に活用していくため、港湾施設の維持管理計画を策定する。</p>			
	事業内容	<p>平成23年度から平成26年度に、新居浜港務局が建設した施設の内、外郭施設（防波堤）、係留施設（岸壁）、臨港交通施設（橋りょう）、水域施設（航路、泊地、ふなだまり）、護岸等計100施設について港湾の維持管理計画を策定する。</p>			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
スケジュール					
事業費	20,000	12,000	20,000	12,000	